

## 第1回「新居浜市上下水道事業運営審議会」会議記録

日 時 令和3年7月21日(水) 14:00~15:10  
場 所 新居浜市役所 3階 応接会議室  
出席者 羽鳥 剛史 委員  
坂上 公三 委員  
尾崎 恵 委員  
藤田 武 委員  
八山 博幸 委員  
飯尾 和之 委員  
宮川 まゆみ 委員  
中沢 真理子 委員 (8名)  
欠席者 田村 昭一 委員 (1名)  
市出席者 石川市長  
秋月上下水道局長  
神野企業経営課長 丹下水道工務課長 高橋企業総務課長  
近藤水源管理課長 藤田下水処理場長 玉井下水道建設課長  
事務局 藤田主幹 石川係長 高橋主査  
傍聴者 なし

### ○内 容

- (1) 会長及び副会長の選出
- (2) 会長挨拶
- (3) 諮問
- (4) 審議
  - ・新居浜市の水道について
  - ・新居浜市の下水道について
  - ・今後の審議会について
  - ・次回の審議会の日程について

**【事務局より挨拶】**

- ・新居浜市審議会等の公開に関する要綱第3条により審議会の内容は原則公開
- ・市のHP等にて会議開催及び傍聴の告知を行ったが、傍聴希望者がいなかった旨の報告

**【委嘱状交付】**

飯尾 和之 様  
尾崎 恵 様  
坂上 公三 様  
中沢真理子 様  
羽鳥 剛史 様  
八山 博幸 様  
藤田 武 様  
宮川まゆみ 様  
田村 昭一 様（欠席）

**【市長挨拶】**

上下水道事業は「公営企業」として独立採算を経営の基本としているが、人口減少や施設の老朽化等の課題を抱えている。上下水道事業は市民生活・社会経済活動の基盤であり、将来的に安定して経営できるよう審議をお願いしたい。

**【職員自己紹介】**

**【会長及び副会長の選出】**

会 長：羽鳥 剛史 様  
副会長：坂上 公三 様

**【会長挨拶】**

- ・愛媛大学社会共創学部 環境デザイン学科 准教授
- ・専門：都市計画・まちづくり
- ・行政への関わり：南予方面（西予市・愛南町・大洲市等）の都市計画や、伊予市の上下水道運営事業への検討に携わる

どの自治体においても人口減少・施設の老朽化、一方で防災が問われている中で、上下水道事業をどう維持していくのか、難しい判断が問われました。新居浜市には新居浜市の実情がある中で、どう舵取りを行っていくのか、これからの議論になると思います。

皆様の御見識、御経験をいただきながら、新居浜市にとって良い運営の在り方、今後十年二十年先にもより良い形というものを模索し、私も尽力していきたいと思っています。

**【諮問】**

1. 持続可能な水道事業経営及びそれを支える水道料金の在り方について
2. 持続可能な公共下水道事業経営及びそれを支える下水道使用料の在り方について

**【審議】**

事務局より配布資料の確認

上下水道局長より水道事業の役割、仕組みと沿革について配布資料等をもとに説明  
水道工務課長より、水道事業と水道施設の概要について配布資料等をもとに説明

(質疑・意見 水道事業について)

会長	せっかくなので、私から質問いいでしょうか。布設年度別の管路延長のグラフにつきまして、これは新設でしょうか。更新は入っていないのでしょうか。
事務局	これにつきましては新設の布設だけでなく、更新も含まれています。若干、(資料グラフ)後半の部分は何年度という訳ではございませんが、老朽管路であったり、下水道工事に伴う支障となる水道管の延長等も含まれておりますので、新設だけという訳ではございません。
会長	給水の割合が96%以上だったので、今後も新設は減っていくけれども、しばらくは新設も続いていくという理解でよろしいでしょうか。
事務局	はい。道路改良工事、11号バイパスですとか、市道の上部東西線等には新しく管が入っていくような計画もございます。

事務局 わかりました。ありがとうございます。その他、御質問等ありますでしょうか。

委員 新設はそれくらいで、水道事業として今後は老朽化対策がメインということによろしいでしょうか。

事務局 はい。今後はそのような形になると思います。  
グラフにございますとおり、概ね 2001 年以降は拡張事業が完了しておりますので、これ以降は更新する管渠が増えております。現在は大半が更新に切り替わっております。

委員 管更生工事でしょうか。

事務局 管更生に関しては水道については予定しておりません。完全に入れ替える工法、布設替えにより更新しています。

委員 40 年以上経過した老朽管路が 156 km、今の基幹管路の耐震化率が 36.1%、令和 12 年度までに 53.4%を目標ということですが、年間どれくらいのペース・事業費と考えたらよいでしょうか。ざっくりで結構ですので教えてください。

事務局 だいたい整備費用としては年間 10 億円程度と考えております。

委員 その位必要なのですね。

事務局 管路だけでなく、施設整備費等も含んでおりますので、若干年度によって比率が変わってきます。

委員 どこに使うかで変わってくるのですね。

事務局 はい。

会長	それは今も、ここ最近も年間 10 億円くらいかけて行っているということでしょうか。
事務局	経営戦略で 10 箇年の整備費用を出しております、94 億円 7,500 万となっております。計画上のお話ですが、10 箇年でこの金額ですので、平均すると 10 億を少し切れるという形になります。
委員	ちなみにそれは何ページに載っていますか。
事務局	<p>お配りしております 3 冊のうち、水道事業経営戦略の冊子 40 ページ、策定した当時のものですが、投資・財政計画の資本的収支の中に資本的支出の建設改良費という項目があるかと思えます。建設改良費というものが、今申し上げた年間どれくらいの事業をとるという金額になるのですが、だいたい 10 億～11 億程度になっていると思えます。</p> <p>ありがとうございます。他、いかがでしょうか。</p> <p>それでは次の議題に移りたいと思えます。次は下水道事業についてです。引き続き事務局より説明をお願いします</p>

上下水道局長より下水道事業の役割、仕組みと沿革について配布資料をもとに説明  
 下水道建設課長より下水道事業の概要・動向について配布資料をもとに説明

(質疑・意見 下水道事業について)

会長	ちょっとお聞きしたい点があるんですけど、整備状況の図で比較的虫食いのように整備予定区域があつたりするのですが、これはボトルネックといいますか、何か支障があつたりするのでしょうか。
事務局	そうですね。たとえば都市計画道路であつたり、河川堤防であつたり、管を埋設するにあたり制約条件があつたりですとか、個人が持たれている道とか、開発道路であるとか、個人から申請を頂く必要がある道であつたりという場合がございます。

事務局                    また、街中で白く虫食いになっているところがあると思いますが、川の西側になるんですけど、こちらは農業振興地域内の農用地で制限がかかっている部分でございます。そのような所は整備できていない所でございます。

会長                      この白い所も今の時点では整備予定になっているのでしょうか

事務局                    今の時点では農振農用地については除外しております。

会長                      ピンクの所については、計画では今後も進めていくということでしょうか。

事務局                    はい。

会長                      ありがとうございます。他、皆様いかがでしょうか。

委員                      先進地の伊予市の事例は教えて頂けるのでしょうか。

事務局                    はい。先進地調査ということで今後も予定しているのですが、伊予市の方には数年前に行かせていただき、どういう検討をしたのか等お聞きしました。その中で、羽鳥先生を御紹介いただき、非常に熱心に御検討いただいた経緯もあります。

                              比較的全国的に先進地といわれるところで行われていることをベースに組み立てていこうかと思っています。ただ、伊予市や他の先に行われている地域につきましては、市街地の形成の仕方が少し違いまして、集落が点在していたり、市街地が固まっていたりするのですが、新居浜の場合は住居が市内全域に点在しておりますので、その辺り線引きが難しい場合もあるかと思っています。またこれから参考事例も紹介させていただこうと思うのですが、新居浜市のやり方を考えていきたいなと思っています。

委員                      ありがとうございます。

会長 伊予市の場合は計画区域と事業実施済の区域が相当乖離しておりまして、その計画に従って進めると、あと 50 年以上かかるという感じでした。

委員 普及率が低かったということでしょうか。

会長 そうですね。普及率は新居浜市さんの方が高いですね。今の時点で。

委員 64%くらいでしょうか。

会長 高かったと思います。具体的な数値は今ちょっとわかりませんが。結局、計画区域に入っていると合併浄化槽等の補助金がもらえないので、地元の方からしても不公平というか何もできないので、地元の方の意向も聞きながら進めていき、伊予市の場合は縮小するという決断になりました。

新居浜市がどうなるかはこれから議論していくことになるかと思いますが、やはり高度経済成長期以降に作られた計画というのは、あの時は急進的にやっていたのですが、今は人口減少を迎え、立ち行かない状態になっているのだと思います。新居浜さんも程度の違いはあれ、似たような状況なのかなと思います。

他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

今回は第 1 回目ということで、上水道や下水道の説明をしていただいて、大まかな仕組みとかイメージは持っていただけたかと思います。

上水道で議論にもあったお金の問題とかは、今後の委員会で集中的に議論していくことになろうかと思います。

では、主な議題はここまでで、残りが今後の審議会についてと次回  
の審議会の日程ということで、事務局より説明をお願いします。

**【今後の審議会について】**

第2回の開催日：令和3年9月1日（水） 時間は午後を予定

（時間・開催場所については後日、案内文書を送付）

審議会開催予定回数：5回程度の見込み

（概ね、月1回程度開催）

**【会長挨拶】**

ありがとうございました。次回は経営状況・見通し等について説明をしていただくことになるかと思いますが、もし時間があれば水道ビジョンや水道事業経営戦略、下水道事業の経営戦略をお読みいただければと思います。読んでいて難しい会計の言葉等も入っているのですが、非常に丁寧に整理されておりますので、難しいなというイメージを持っていただくだけでも良いと思いますし、パッと見ていただくだけでも第2回の検討部分の参考になるかと思いますが、是非お時間があれば参考資料を見ていただければと思います。

皆様、御協力いただきありがとうございました。